



To team Sumida

# 墨田区職員 採用案内 2022

チームすみだへ。



ひと、つながる。  
墨田区

## 墨田区長 山本 亨から皆さんへ

墨田区の未来を創造していく上で、区職員は重要な役割を担う存在です。区民の皆さんの声を聞き、同じ目線に立ってその期待に応えていくためには、豊かな発想とスピード感、仕事の効率性を大切にすることが求められます。さらに、区職員としての誇りを持ち「できない理由」ではなく、「できるためにはどうすればよいか」を常に考えられる人を理想の職員像としています。

困難に直面しても、自ら考え、互いに知恵を出し合い、目標達成に向けてワンチームで乗り越えていく、23区で一番の職員力を目指して、このような想いを共有できる職員が、墨田区には必要です。

皆さんが活躍できる場は、大きく広がっています。墨田区で皆さんの夢や志を実現し、まちの未来をともに創っていきましょう。



## 地域活性化に向けた新たな施策

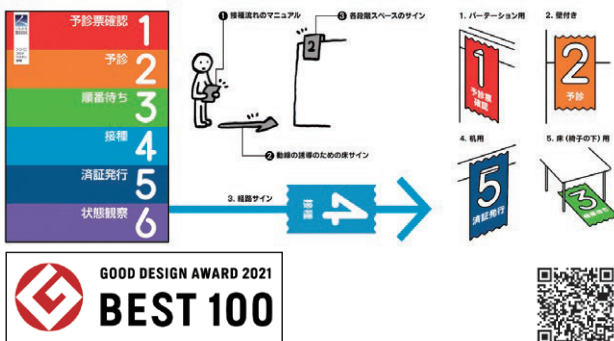
### 2021年度「SDGs未来都市」「自治体SDGsモデル事業」に選定

墨田区のSDGsモデル事業「産業振興を軸としたプロトタイプ実装都市～ものづくりによる『暮らし』のアップデート～」では、社会課題の解決に取り組むスタートアップ企業を区内に誘致し、区内企業との連携を図ることで、医療や環境、高齢化といった地域の課題解決に役立つ試作品を開発し、社会実験として地域で活用していきます。

これにより、スタートアップ企業と区内企業との連携にとどまらず、区民と企業との交流を生み出し、地域の持続的な活性化を目指します。



### 千葉大学と共同してワクチン接種会場の誘導サインを作成



墨田区と千葉大学は平成29年3月に包括的連携に関する協定書を締結し、令和3年4月には、墨田区に千葉大学墨田サテライトキャンパスを開設しました。本キャンパスは、イノベーション創出に向けた産学官連携による分野横断的デザイン教育・研究を展開するとともに、地域と連動して社会の課題解決に向けて実践的に取り組むこととしています。そこで、墨田区の喫緊の課題であった新型コロナウイルスワクチン接種体制の構築に当たり、同大学デザイン・リサーチ・インスティテュートの張益準准教授の監修のもと、視覚伝達デザインの知見を活用したサイン計画を作成しました。

本サインは、2021年度グッドデザイン賞のグッドデザイン・ベスト100に選出されました。

# \\ 墨田区の魅力は、ダイバシティ \\

皆さんご存知の東京スカイツリー®がそびえ立つイメージが強い墨田区ですが、自然に親しむ公園や、アートや歴史を楽しむ施設、下町らしい商店街などいろいろな魅力が詰まった墨田区をエリアごとにご紹介します。

## 鐘ヶ淵・向島エリア

墨堤の桜に代表される隅田川沿いをのんびり楽しめるスポット。江戸時代からの花園として有名な向島百花園では、四季折々の花に出会えます。狭い路地が網の目のようにのびる向島地区は、アートの発信地としても注目を浴びています。

職員から一言！

狭い路地が多いので、散策するなら自転車がおすすめ！  
白鬚防災団地は圧巻の光景！

## 八広・京島エリア

入っただけで入り組んだ迷路のような街並みが特徴的なこのエリアは、「町工場と昭和レトロが残るまち」。下町情緒を感じさせる路地裏には製造業等を営む工場も多く、昔懐かしい雰囲気が魅力的です。大正から昭和初期にかけての長屋が今も残っているため、下町らしい商店街を楽しむことができます。

KANEGAFUCHI &

MUKOJIMA AREA

## 吾妻橋・押上エリア

多くの観光客で盛り上がっている東京スカイツリー®の足元で、国際的な観光名所となっています。一方で、昔ながらのお店や雰囲気も残る「新旧文化が融合したまち」。リバーサイドの東武鉄道高架下にある商業施設「東京ミズマチ®」は活気あふれています！



YAHIRO & KYOJIMA AREA

職員から一言！

キラキラ橘商店街では、若い世代の方の出店が増えていて、盛り上がりを見せています！

庁舎の周りには、東京ミズマチを始め飲食店がたくさんあるから、お洒落なランチが楽しめる！

職員から一言！

AZUMABASHI &

OSHIAGE AREA



墨田 AREA MAP

RYOGOKU AREA

KINSHICHO AREA

## 両国エリア

すみだ北斎美術館、両国国技館をはじめ、歴史を感じられる場所が、数多く残っており、江戸時代から続く伝統文化を楽しむことができます。また、江戸の伝統グルメ・ちゃんこ料理も有名です！

両国駅直結の観光案内所では観光マップ、各種イベントのパンフレットなどがもらえます！

職員から一言！



川沿いに広がる大横川親水公園を通ると、緑を感じることができて、気分がリフレッシュ！

職員から一言！



## 錦糸町エリア

大規模ショッピングモールや映画館など、充実した娯楽施設が多く立ち並んでおり、音楽、ショッピング、食事など「新しいものにぎわっているまち」であり、ちょっとしたお出かけに最適な場所。音楽好きにはたまらない「すみだトリフォニーホール」は、オーケストラの鑑賞を臨場感あふれる空間で楽しむことができます。

01



予防接種調整担当  
インタビュー

保健予防課  
新型コロナウイルス  
予防接種調整担当

一般事務  
箱田 有希  
(平成 29 年度採用)

### 刻一刻と変わる状況に対応する接種計画

ワクチン接種において、23区でも随一の対応力を見せた墨田区。職務によって、超過勤務が必要となる時もあります。ワクチン接種事業において活躍した先輩職員にインタビューしました。

#### Q 現在、担当している業務の内容を教えてください。

箱田：新型コロナウイルスのワクチン接種業務の中でも、区内のワクチン管理と接種計画を作っています。今の担当への異動が決まった時から、重要性については理解していて、その中で業務が多忙になることは覚悟していました。むしろ、どうやって乗り越えていくか早い時期から考えていました。

#### Q 様々な課題の中で、特に苦勞したことを教えてください。

箱田：接種計画どおりに進まず、刻一刻と変わる状況に対応しなければならないことでした。ワクチンの供給がないと業務自体が止まってしまうので、協力いただいている医療機関とのこまめな情報共有を特に意識していました。また、初期の集団接種会場ではトラブルも多かったのですが、現場に行くたびに様々な改善の跡があり、非常に助かりました。全庁的な協力体制の中で、各職員さんが自発的に動いてくれて、区民の方はもちろん、内部の職員からも応援いただけたのは嬉しかったです。

#### Q 超過勤務の必要性について教えてください。

箱田：迅速にワクチン接種を進める目的があったため、単純な事務量が多いこともありましたが、日中は、問合せ対応など各担当がそれぞれ忙しく動いていたので、定時後に初めて人がそろろうという状況でした。その時間で、落ち着いて全体の情報共有を図れたことが円滑に接種を進めることができた要因でもあるため、やはり、どうしても必要な時はあります。

#### Q 乗り越え方・リフレッシュ方法について教えてください。

箱田：担当全体の雰囲気が良かったので、悩んでいる時も、すぐに共有し業務の平均化を行うことができました。また、全庁的な応援体制の中で、普段関わることがない先輩・後輩職員とつながりができ、業務の合間のたわいもないコミュニケーションを取れたことが、リフレッシュになりました。

#### Q 最後に墨田区の魅力を一言！

箱田：全庁的な応援体制で、職員のつながりを感じました。庁内で同僚に会うと、気軽にコミュニケーションが取れます。部署関係なくつながりを作れる雰囲気が墨田区の魅力ですし、働きがいやモチベーションになると思っています。入庁したら、ぜひ仲良くなりましょう！

# 職種は別でも子どもたちの成長に共に感動

墨田区では、異なる専門性を持った職種の職員同士が同じ目的を持って、協力して働いています。今回は、コミュニケーションが盛んな職場で働く先輩達にインタビューしました。

## Q 現在、担当している業務の内容を教えてください。

渥美：0歳児クラスの担任です。おもつ替えや離乳食を始め、子育ての始まりを手助けする仕事です。

近藤：保育園の保健業務全般を行っています。各クラスを回って、健康管理、けが・病気の際の対応や健康診断などを担当しています。

## Q やりがいを教えてください。

渥美：子どもの成長をそばで見られることです。昨日できなかったことが今日できる、一瞬一瞬に立ち会える、その場にいる職員やお迎えの時の保護者の方を含め、みんなで感動を共有できることが嬉しいです。

普段大人しくて穏やかな子が、キッズカーに初めて乗ったら、すごい活発な一面を見ることができました！

近藤：看護師という立場から、からだの事をお話したり、せきをするとウイルスがどれくらい飛ぶか実験をしたことがあるんですが、子ども達が予想どおりの反応で驚いてくれたりすると嬉しくてやりがいになっています。

## Q 異職種同士で仕事をする際に、意識していることは何ですか。

渥美：挨拶でも何でも声をよく掛けて、細やかに情報共有するようにしています。専門的な内容は、信頼してお任せしていますし、わからないことは、なんでも教えてもらいます。

近藤：それぞれの職種の目線から意見交換することができるので、その都度連携しながら、子ども達への対応を考えるようにしています。

## Q 墨田区の強みを教えてください。

渥美：下町柄なのか、墨田区出身の保育士も多いので、職員が皆とてもフレンドリーです。

近藤：大ベテランの先生がかつて保育していた子が、今は保護者として子どもを預けているっていう、つながりも見えますね。

渥美：あとは、勉強会や研修が充実しています。子どものけがや障害児保育まで、ベテランの先生達が主導して企画・実施してくれています。

近藤：新人同士で集まって連絡帳の書き方を学んだりグループワークする機会も多かったです！

## Q 今後目指している職員像を教えてください。

渥美：育児休業を取ったことがある分、後から入ってくる後輩達が働きやすい環境になるようたくさんサポートしてあげたいです。

近藤：まずは、自分で楽しいことを見つけて、それを子どもたちにも伝えていきたいと思います。



## 保育士 × 看護師 インタビュー

中川南保育園

保育士

渥美 綾 (右)

(平成21年度採用)

看護師

近藤 麻里恵(左)

(令和2年度採用)



Interview



## 技術職 インタビュー

立体化推進課  
立体化推進担当

土木技術  
小田 千尋  
(平成 24 年度採用)

## チャレンジで広がる新たなまちづくり

あらゆる人につながるの温かさを魅力に感じてもらうシティブロモーションを展開する墨田区では、職員も情報発信の主役です。新たな働き方にチャレンジする技術職の先輩にインタビューしました。

### Q 現在、担当している業務の内容を教えてください。

小田：東京スカイツリー® 付近の鉄道高架化工事は墨田区が主体の事業です。私の部署で鉄道会社や関係機関と連携しながら、あらゆる協議調整をワンストップで担当しています。立場関係なく意見を出し合えて、新しい取組も認めてもらえる、風通しの良い職場ですね。

### Q 新しい取組はどういったものですか。

小田：普段の技術職の仕事に加えて、+αで事業 PR 活動にチャレンジしています。SNS の利用や YouTube で工事動画を投稿するほか、広報部署や区内のクリエイターと協力し、工事現場の仮囲いに広報看板を設置した取組では、近隣保育園の協力を得て、園児の絵画作品を展示しました。

### Q チャレンジを経た今、働き方に変化はありましたか。

小田：HP 閲覧数の推移や SNS の反応など、技術職とは異なる指標で仕事を見つめ直すことで視野が広がり、常に新しいことにアンテナを張って仕事に向き合っています。技術系以外

の職場との横のつながりが増えましたね。区民の方にもっとまちづくりに興味関心を持ってもらうためには、まずは知ってもらう必要があります。工事説明会では、パネルを作成したり、より身近に感じてもらえるように上司と鉄道模型を作成したり、更に新しいことにチャレンジしています。今後は、鉄道工事の見学イベントも計画していきたいですね。

### Q 墨田区の技術職の魅力を一言！

小田：身近なサービスや施設に携わる機会が多く、現場に出て、知恵を出して課題を解決する、やりがいがある仕事ばかりです。設計会社やゼネコンなどの経験者やフレッシュマン、いろいろな能力・個性を持つ職員が和気あいあいと一緒に仕事をしています。新しいことにチャレンジする方、お待ちしております。



園児の絵画作品を用いた工事現場の仮囲い

# 先輩のフォローで入庁前の不安を解消

誰も働く前は、職場の雰囲気やどんな仕事をするのか、不安に思うこともあると思います。墨田区ならではの入庁後のギャップを新人職員と先輩職員に聞いてみました！

## Q 現在、担当している業務の内容を教えてください。

大場：異動届（転入・転出等）を受理する窓口対応と、印鑑登録の担当をしています。

倉金：墨田区に引っ越してきた区民の方を初めて対応する場所なので、子育てや、介護の部署に案内したり、生活のサポートにつなげられるのがやりがいです。

## Q 入庁前に不安だったことを教えてください。

大場：入庁しないとわからないことなので、指導してくれる先輩の方々や職場になじめるか不安でした。実際は、そんなことはなくて、今では先輩達とランチに行くこともあります。

倉金：庁舎の近くには東京ミズマチ® など素敵なお店も多いのが良いよね。

大場：あと、墨田区出身以外の職員の方もたくさんいることが驚きでした。最初は道案内できるかどうか、細かいことも不安でした。

倉金：大場さんは、わからないことを積極的に聞いてくれるから教える立場としても助かってる！近い立場の先輩職員もたくさんいるので、私自身も遠慮なく質問して勉強しています。

## Q 入庁当時と比べて、新人職員の働き方はどう変わりましたか。

倉金：最初から言葉遣いは丁寧だったんですけど、最近は自信を持って対応しているように見えます。高齢の方を始め、相手によって言い回しや伝え方に工夫があり、成長を感じます。

大場：倉金さんの疑問に感じたことをすぐ調べる姿勢や、忙しい時でも区民の方に寄り添った窓口対応ができる部分を見習っています。

## Q 最後に未来の後輩にメッセージをお願いします！

大場：就職活動中は、不安が多く辛い日々があると思いますが、入庁後は先輩や同期など新たな出会いがあることで新しい発見もあるので、ぜひ最後まで頑張ってください！

倉金：同年代の気さくな先輩職員が皆さんをお迎えします。ぜひ一緒に働きましょう！

### Column

#### ～入庁後は何をする～

墨田区職員になると、接遇・ビジネスマナー等の新任研修を始めとして、実務を含め幅広い研修を受講します。仕事の基礎を学ぶことができるため、社会経験がなくても、心配ありません！

#### 新任職員の主な研修

1年目	新任研修、新任フォロー
2年目	接遇、福祉
3年目	クレーム対応、資料作成
4年目	ストレスコントロール、キャリア



## 先輩 × 新人 インタビュー

### 窓口課住民異動係

一般事務

大場 柚奈（右）

（令和3年度採用）

一般事務

倉金 美成（左）

（令和元年度採用）

## 05

## [育児休業体験インタビュー] 育児で味わう大きな喜び

厚生課

田部井 一真 (平成 25 年度採用)

厚生課では、部の庶務、民生委員・児童委員、成年後見制度、地域福祉計画に関する事務などを行っています。

### Q 育児休業を取得するきっかけは？

周りに育児休業を取得している同期や先輩が多くいたため、取得するのが自然なことだと考えていました。当時、所属長に相談したところ「全力でサポートしたい」と言っていただいたことが決め手となりました。



### Q 育児に参加してよかったことは？

取得前は、育児に貢献できるのか不安でしたが、ほとんどの育児が男性でもできることが分かりました。さらに、私が家事を行うことで妻の負担を軽減できるメリットも大きいと感じました。

また、子どもが初めて声を出して笑った瞬間は忘れることができません。生後間もない時期に1か月半の間、まとまって一緒に過ごせたからこそ感じる事ができた幸せであり、このような貴重な機会を与えてくれた職場や周りの方々に感謝しています。

### Q これから職員を目指すみなさんへ

仕事と育児の両立は大変だと思われかもしれません。しかし、どちらも自分一人で行うものではなく、周りの人と協力して壁を乗り越えた際には、大きな喜びや達成感を味わうことができます。

墨田区にはワーク・ライフ・バランスを実現するための環境が整っており、相談できる先輩もたくさんいます。魅力あふれる墨田区でぜひ一緒に成長していきましょう。

文化・スポーツ振興や環境保全対策などに関する予算の担当をしています。各課の予算要求を受けヒアリング・査定をしたり、予算の執行に関する相談の対応をしています。

### Q 異動を希望したきっかけは？

介護保険課では、介護サービスを受けるために必要な要支援・要介護認定を決める審査会の運営をしていました。一つの分野に深く携わることができましたが、次は予算を作る部署で墨田区の仕事の全体像をつかみたいと考え、財政担当への異動を希望しました。

異動した当初は「こんなにも仕事が変わるのか」と驚きました。予算査定をする上では根拠法令を確認し、各課の仕事を理解する必要がありますが、介護保険課で培った法改正への対応や契約事務の経験が役立っています。

今後は、「決まった予算の中で、より効果的・効率的に事業を運営していく」という視点から、イベントを企画する部署も経験したいと考えています。



### Q これから職員を目指すみなさんへ

誰もが「入庁したばかりでわからない」「異動したばかりでわからない」という経験をしていますので、皆でお互いにフォローしあって仕事をしています。わからないことも怖がらず、一緒に立ち向かっていきましょう。

皆さんと仕事ができる日を楽しみにしています。

## 06

## [人事異動経験インタビュー] 異動で広がる仕事への視点

介護保険課⇒財政担当

牧野 文 (平成 27 年度採用)



07

## [管理職インタビュー] 部下と共に成長する管理職に

観光課長  
楠 幸輔 (平成18年度採用)

区の観光振興を担当しています。一般社団法人墨田区観光協会と連携して、魅力的な観光情報の発信などに取り組んでいるほか、他の自治体と連携した広域的なプロモーションを展開しています。

### Q 管理職を目指したきっかけは？

東日本大震災を経験した際に、より多くの人を、自分の責任と判断で助けられるようになりたいと考えたためです。



部下には、一緒に仕事をする中で仕事だけでなく、人生を豊かにできるような「気付き」をもたらすことができればと思います。ある意味で「家族」のような大切な存在だと意識して、付き合っていくようにしています。

### Q 新人職員に求めることは？

悩んでいること、不満なことを含め、率直な意見をぶつけてくれる人と一緒に仕事がしたいと思います。管理職としての自分も刺激され、成長する機会を得られるのではないかと考えています。

### Q これから職員を目指す皆さんへ

墨田区は、新しいものと古いものが混在し、洗練され過ぎていない、雑然とした雰囲気があることが魅力です。東京スカイツリー®の開業など、私が入庁してからのまちの変化は著しいものがありました。まだまだ伸びしろがあると感じています。ぜひ一緒に、すみだのまちをより良くしていきましょう。

地域で活動する人材や団体に対する支援を行っています。区民の皆さんと一緒に事業の企画運営を行ったり、実際に地域で活動している場に参加し、区民の皆さんと同じ目線で仕事をするよう心掛けています。

### Q 係長職を目指したきっかけは？

女性管理職と一緒に仕事をし、相談しやすい雰囲気でありながら、的確な判断や指導をしていただき、憧れを抱いたことです。ともに仕事をする中で、得たこと、学んだことを、後輩達に伝えていきたい、還元したいと思い、係長職を目指しました。

一段広い視野で仕事と向き合えることが係長職の良さであり、区民の方の意見を尊重しつつ、行政側の目的達成のため調整を行う部分は、力の見せ所だと思います。

### Q 係長職として意識していることは？

性格や経験によって、適性や能力がそれぞれ異なるので、部下に対しては、その人に合った接し方、指導の仕



方を心掛けつつ、困ったときには気軽に相談しやすい存在でいたいと思っています。

### Q これから職員を目指す皆さんへ

墨田区を好きと言ってくれる区民の方が多くおり、昔ながらの人情やつながりが大切にされているなど実感しています。魅力いっぱいの墨田区の一員になりませんか！

08

## [係長職インタビュー] きっかけは憧れの女性管理職

地域活動推進課まなび主査  
石床 めぐみ (平成19年度採用)

# 墨田区が誇る

## ものづくり・江戸文化・にぎわい



こころ、ゆさぶる。  
すみだ  
モダン

### ものづくり

墨田区は江戸時代から続く伝統工芸のほか、明治初期からは時計、革靴や革カバン、肌着、石けんなど日用品の生産地としても発展してきました。区内には、今でも職人や町工場が数多く残っており、生活に密着した品質の高い製品が作られています。



#### 墨田区職員としての 関わり方

墨田区では、「すみだ地域ブランド戦略」を推進し、区内の優れた商品の開発や、社会課題等に取り組む事業者の活動に光を当て、「すみだモダン」というブランド名で「ものづくりのまち すみだ」をPRしています。

区職員は、新商品開発の支援や事業者同士のコミュニティ運営のほか、催事も企画し、様々なプロモーションを行っています。墨田区の魅力を発掘・発信していくためには、皆さんの新しい発想が必要です。一緒に墨田区のものづくりを盛り上げていきませんか？



### 江戸文化

伝統が息づく江戸文化発祥の街である墨田区。両国周辺には、多くの相撲部屋が置かれ、ちゃんこ料理店が数多く存在し活気があふれています。また、墨田区で生まれたと言われる浮世絵師「葛飾北斎」の作品を展示する「すみだ北斎美術館」も同地域にあります。

#### 墨田区職員としての 関わり方

毎年夏に開催されている隅田川花火大会の開催に当たって、全庁的に職員が連携し、大会運営や警備等に従事します。こうした伝統行事や文化振興について、区民の方や関係機関と協力し、企画・運営することも区職員の役割であり、大きな達成感を得ることができる魅力的な仕事の一つです。地域を大切に、人と人のふれあいを大切にする下町人情が息づくまち・墨田区には、皆さんの力が発揮できる場所がたくさんあります！



# 墨田区の取組・福利・基本データ

## 障害者の雇用及び活躍の推進

障害を有する職員が障害特性や個性に応じて能力を有効に発揮することができるよう、障害者雇用に積極的に取り組んでいます。

● 特別区における「障害者を対象とする職員採用選考」の実施

● 区独自の会計年度任用職員（オフィスサポーター）の採用

● 障害者雇用推進チームの設置や障害者職業生活相談員の選任等によるサポート体制の構築等



総務課・オフィスサポーター

## 職員派遣

墨田区では、職員の意識改革と資質の向上を図り、区政への効率的な貢献を目的として、民間企業や東京都その他の地方公共団体に職員を派遣し、業務を体験させる派遣研修等を行っています。

### ■地方公共団体等

東京都  
江戸川区  
石巻市（被災地派遣）

### ■民間派遣

アサヒビール株式会社  
東武鉄道株式会社  
UR都市機構



東武鉄道(株)に派遣中の庭野主事（左）

## 職員住宅

本区には、区内各所に職員住宅があります。その時の部屋の空き状況によりですが、一定の要件を満たせば入居することができます。

### ■入居者の役割

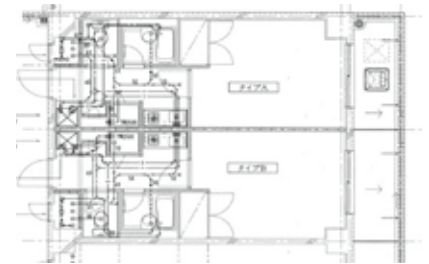
災害時の要員の確保という区の危機管理上、防災に関する一定の役割が与えられ、災害時は、初動対応から従事することとなります。また、平常時においても、年に1回実施される「総合防災訓練」や「職員災害対応訓練」等の訓練に参加するほか、無線機器操作講習会への参加、普通救急救命技能認定の資格取得等が必要となります。

### ■費用

賃借料及び管理費の50%に相当する額となります。（その他条件により異なります。）

### ■利便性

自転車通勤をする入居中の職員が多数いるほか、区内から都心へのアクセスもよく、公共交通機関の利便性は良好です。



## 基本データ(R3.4.1時点)

■人口 275,975人

■面積 13.77km<sup>2</sup>

■予算 1,193億円（令和3年度）

■職員数 1,804人

■採用者数(R3.4.1付)

Ⅰ類・Ⅲ類・経験者採用等

事務・技術・福祉・医療技術系52人

Ⅱ類採用

保育士15人、看護師1人



Column

## ロゴマークの意味



ひと、つながる。  
墨田区

本区に暮らす・働く・訪れる、すべての人に「つながり」の温かさを魅力に感じてもらい、それを地域の方へと変えていきたいという想いと、本区が「これからも『人と人とのつながり』を大切にしながら、未来への道を歩いていく」という決意を表しています。

To team Sumida



## 墨田区総務部職員課

〒130-8640 東京都墨田区吾妻橋一丁目23番20号

電話：03-5608-6244（直通）FAX：03-5608-3474

URL <http://www.city.sumida.lg.jp/> E-mail [SYOKUIN@city.sumida.lg.jp](mailto:SYOKUIN@city.sumida.lg.jp)

採用情報について  
もっと詳しく！



墨田区 採用